

「立志祭」から

「立志祭」を終えて

毎年、藤樹先生の誕生日である三月七日の前後に、九歳の頃の藤樹先生の思いを知り、今の自分を見つめ、自分の志を持つための足がかりとするために市内の全小学校の三年生を対象に、「立志祭」が実施されます。

この度、市内の小学校から「立志祭後の児童作文」をご提供いただきましたので、次に紹介します。ご提供ありがとうございます。

今津北小学校

立志祭

桂田 全

ぼくはシェフになりたいです。なぜかといつとぼくはよりよいがすきだからです。なのでぼくは家でもりよりの手つだいをします。今年のその合の野さいづくりではなすを育てて、なすの肉まきなど一人でありよりもしました。これからもつづけたいです。五年からはじまるかていかのべんきようもがんばりたいし、外国のおきやくさんのために英語もがんばりたいです。ねぼうしないように早ね早おきもがんばりま

す。大人になって日本料理のシェフになって、たくさんの人においしいと言ってもらいます。



佐々木 琴

わたしはしょう来、小せつ家になりたいです。なぜなら、今そんけいしている人がむらさき式部さんだからです。

小せつ家になって人をうれしい気持ちにさせたいと思っています。たくさん小せつをかいて、たくさんの人に読んでもらって、自分も読んだ人もいい気分になってほしいです。

そのために、これからたくさん勉強をがんばりたいです。もっとうるんな本を読んで、今から絵本とか小せつを書いてみます。そしてかっこいい小せつ家になりたいです。そんけいしてゐるむらさき式部

さんの本も読んで、たくさんの人にあいされる本を書けるように努力していきたいです。



福田 エミリア

わたしはしょう来、小学校の先生になりたいと思っています。なんでもかと言つと、まるつけもすきだし、問題がわからなかったら教えたいからです。ぜんもん正解になるまで、まるつけもちゃんとしたいです。出来たらほめたいです。そのためには大学に行かなくてはなりません。なので先生のお話をきいて、集中して勉強し、宿題もしっかりがんばって自しんをつけたいです。

先生になったら、朝一番に子どもたちにおはようございますって言いたいです。みんなもおはようございますって言ってほしです。

「立志祭」から

「立志祭」に参加して

安曇小学校

古城 葵



立志祭に参加して

古城 葵

立志祭の一部で、藤樹書院の見学をしました。そこに、火事の時に村の人が必死に守った藤樹先生の服が残っていてびっくりしました。ぼくが藤樹先生から学んだことは、いつも心をみがかないといけないということです。ぼくはたまにうそをつくけど、藤樹先生の言っていることを